

# 中山間地域における認知症対策の推進方策の検討

東部厚生環境事務所・東部保健所

○ 北川雅典, 大空淳一, 伊藤ちか子, 大浦浩二,  
佐藤博子, 藤井眞一, 湯木良子, 開本真由美

## 1 はじめに

今後、認知症高齢者の増加が見込まれる中、地域で認知症高齢者とその家族を支えるためには、認知症への対応を行う人材や拠点等の地域資源のネットワークによる支援体制の構築が重要となっている。しかしながら、特に中山間地域では認知症に対する医療資源が十分でなく、早期診断や、認知症高齢者への支援体制が十分でない。

このため、地域で認知症高齢者を支える体制づくりの課題と支援方策を検討したので報告する。

## 2 取組の概要

### (1) 取組内容

世羅町を対象として、町と連携して検討を進めた。

当圏域でモデル事業を実施した三原市医師会等の「認知症地域連携パス」の取組みを参考に、医療・介護関係者とも連携した認知症対策の推進を図るための方策を検討した。

### (2) 検討項目

- ・ 早期診断体制（例：専門医の定期相談等）
- ・ 「認知症地域連携パス」を活用した医療・介護ネットワーク体制
- ・ 医療・介護従事者を対象にした研修体制

## 3 主な取組実績（世羅町）

今年度、世羅町では、「在宅医療推進拠点整備事業」の一環として、次のとおり認知症対策に関する取組を実施した。

### (1) 認知症対策講演会の開催

講師：鳥取大学医学部 浦上克哉教授，住民及び関係者約 200 名が参加

### (2) 認知症重症化予防研修会（介護従業者対象）の開催

### (3) 「物忘れ相談プログラム」（認知症スクリーニング機器）の購入，活用

### (4) 地域資源マップの作成

## 4 課題等

当初、「専門医による早期診断体制」を最大の課題と考え、精神科専門病院からの派遣，あるいは当所の嘱託医による相談体制を検討する予定であったが、町内の病院において週 2 日の認知症外来が設置され、一定の体制整備が図られたため、当面、この点については継続課題となった。

また、「認知症初期集中支援設置促進モデル事業」の実施について町に働きかけを行ったが、地域包括支援センターの人員体制等の課題があるため、先行実施市町の状況を参考に、今後検討するこ

ととなった。

加えて、住民の意識も、「現状では何が不十分で、今後どうあってほしいか」まで明確でないため、具体的な取組目標を定めることが困難であった。この点で、住民に対する啓発も併せて検討すべき課題であった。

## 5 今後の取組

今後は、介護保険事業計画における重点事業として、認知症対策をより一層推進する必要がある。

また、認知症患者の長期入院の解消の観点からも、在宅医療の推進と一体的に進める必要がある。

当所としては、引き続き、早期診断体制の充実、「認知症地域連携パス」を活用した連携体制等の検討など、町の認知症対策の推進を支援していく。



## 第2回

# 中山間地域連携フォーラム花の里 in “せら”

～認知症の方への適切なケア提供のためにわたしたちが取り組めること～

わたしたちのまち世羅町では、認知症の方へ適切な治療・ケアの提供ができるように、医療と保健・福祉の連携を充実し、認知症になっても地域で支えることができるような町づくりをめざしています。

皆様の参加をお待ちしています。

**日時** 平成26年6月26日(木)

午後6時30分～8時30分



**場所** 世羅町甲山保健福祉センター(2階)

(報告) 午後6時35分～

I 「認知症の方々が安心して住める町造りをめざして」  
世羅中央病院企業団 神辺 眞之 企業長

II 「認知症の方をささえる地域医療」  
世羅郡医師会 うらべ医院 卜部 智重 先生

III 「認知症の方をささえる在宅介護での課題」  
世羅郡介護支援専門員連絡協議会  
正尺 昭子 介護支援専門員  
(広島県ケアマネマイスター)

(講演) 午後7時35分～

「認知症への正しい理解と対応法」  
鳥取大学 医学部 浦上 克哉 教授

主催 世羅町地域包括ケアネットワーク連携会議  
共催 世羅郡医師会 世羅郡介護支援専門員連絡協議会  
世羅中央病院企業団 世羅町社会福祉協議会 世羅町



# 認知症予防講演会

～認知症予防のためにわたしたちが取り組めること～

わたしたちのまち世羅町では、認知症予防のための取り組みを行うとともに、認知症になっても地域で支えることができるような町づくりをめざしています。

皆様の参加をお待ちしています。

**日時** 平成26年6月27日（金）

午前10時00分～12時00分

**場所** 世羅町甲山保健福祉センター（2階）

★ **講演** 鳥取大学 医学部 浦上克哉 教授

「認知症の最新情報～接し方から予防法まで～」

※ タッチパネル（認知症簡易検査器）の体験もできます

**主催** 世羅町地域包括支援センター（世羅町福祉課内）  
地域型支援センター さくら（世羅町社会福祉協議会）  
ひまわり（サンシャインせら内）

**共催** 世羅町地域包括ケアネットワーク連携会議



お問い合わせ先 世羅町地域包括支援センター 電話：25-0072

## 認知症重症化予防事業実施要領

### 1 目的

認知症患者の重症化を予防するための取り組みについて学び、質の高い介護サービスを習得し実践することで、町内の認知症患者の進行を緩慢にする。

### 2 事業の実施方法

町が主催する認知症患者の重症化を予防するための取り組みを学ぶ研修会に、対象者が参加し、その方法について習得し実践する。

### 3 対象者

介護施設職員 世羅郡介護支援専門員協議会 世羅町近隣事業所職員

### 4 事業内容

- (1) 医師からの認知症患者の重症化の予防、またスムーズなケアを提供するための手法を学ぶ研修会を開催。
- (2) 聴講した対象者が、各事業所で実践できるための方法を学ぶとともに、対象者同士が方法について考える機会を提供する。

### 5 依頼講師

教授・・・筑波大学 医学医療系 臨床医学域 精神医学 朝田 隆 教授  
「認知症ケア：生活障害サポートの考え方・高め方」

### 6 日程

平成26年8月1日(金曜日)  
午前10時00分から12時00分

### 7 開催場所

世羅町農村環境改善センター

### 8 予算

121千円(報償100,000 旅費 21,000)